

テーマ番号3										2022 年度									
概要説明シート																			
テーマ		放課後子ども対策																	
根拠法令・計画等		「新・放課後子ども総合プラン」「人間市子ども・若者未来応援プラン」 （学童）・人間市学童保育室設置及び管理条例 ・人間市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例 ・人間市学童保育室設置及び管理条例施行規則 ・人間市学童保育室整備計画 他 （放課後子ども教室）・人間市放課後子ども教室事業運営協議会条例 ・人間市放課後子ども教室事業実施規則								担当局・部名		こども支援部							
										担当課名		青少年課							
										作成責任者		青木淳子							
実施の背景		両事業は国の「新・放課後子ども総合プラン」により、すべての小学生が放課後を安全・安心に過ごし、多様な体験・活動を行うことができるよう一体的あるいは連携して事業を行うよう示されています。「一体的あるいは連携した運営」とは放課後の児童が両事業に参加し、安全に行き来できるよう同じ学校施設内等で両事業を実施することです。																	
目 的 （何のために）		「学童保育室」：保護者が労働等により昼間家庭にいない小学校等に通う子どもたちに、遊びや生活の場を提供し、その健全な育成を図る事業 「放課後子ども教室」：放課後等に小学校の余裕教室等を活用して、子どもたちの安全で安心な活動拠点を設け、地域住民の参画を得て、子どもたちに様々な学習、体験及び交流活動の機会を定期的かつ継続的に提供する事業																	
事業概要	対 象 （誰・何を対象に）		小学校の通学区域内に在住する児童								対象者数（全小学生6,814人に対する割合）								
											6,814 人（ 100 % ）								
	事業内容 （手段、手法など）		事業内容 学童保育室：保護者が労働等により昼間家庭にいない小学校等に通う子どもたちに、遊びや生活の場を提供し、その健全な育成を図る。 市内小学校の各校に学童保育室を設置。月曜日から土曜日までの朝7時30分～夜19時までの居場所を提供。現在民間学童2を加えた27施設で運用。 放課後子ども教室：放課後等に小学校の余裕教室等を活用して、子どもたちの安全で安心な活動拠点をつき、地域住民の参画を得て、子どもたちに様々な学習、体験及び交流活動の機会を定期的かつ継続的に提供する。 現在、市内全小学校で学期ごとに開催している。 R4年1学期事業例 ・紙コップタワーであそぼう ・ティーボールで思いっきり遊ぼう！ ・竹トンボを作って飛ばそう！他																
			関連事業 （同一目的事業等）		子どもの居場所事業 担当：こども支援課、青少年活動センター（青少年課）、事業費44万円、子どもの居場所事業の企画運営委託（こども食堂、勉強会など）														
コスト			2022 年度（予算）				2021 年度（決算）				2020 年度（決算）				2019 年度（決算）				
	事業費合計		114,429 千円				67,756 千円				66,245 千円				60,340 千円				
	事業費内訳 （2021年度分）		【学童保育事業】 ・需用費 19,083,364円（光熱水費 他） ・役務費 2,950,156円（電話代、傷害保険料 他） ・委託料 29,716,230円（金子・金子第二学童保育室運営業務委託料 他） ・使用料及び賃借料 2,589,089円（入退室管理システム利用料 他） ・備品購入費 747,263円（学童保育室用PC購入費 他） ・負担金、補助及び交付金 10,084,500円（民間学童保育室への運営費補助金） ・その他 83,563円（職員の旅費 等） 【放課後子ども教室事業運営協議会報酬】 ・放課後子ども教室事業運営報酬 239,500円（委員報酬） 【放課後子ども教室事業費】 ・報償費 387,500円（講師謝金、ボランティア謝礼） ・旅費 22,000円（運営協議会委員会費、コーディネーター研修） ・需用費 879,609円（放課後子ども教室消耗品、事業教材費） ・役務費 973,199円（携帯電話通信料）（計 2,501,808円）																
	人件費	担当正職員		12	人	94,800	千円	12	人	94,800	千円	12	人	94,800	千円	10	人	79,000	千円
		臨時職員等		131	人	330,400	千円	141	人	358,400	千円	136	人	345,800	千円	119	人	298,200	千円
		人件費合計		143	人	425,200	千円	153	人	453,200	千円	148	人	440,600	千円	129	人	377,200	千円
総事業費		539,629 千円				520,956 千円				506,845 千円				437,540 千円					
財源内訳	国県支出金		190,929 千円				158,519 千円				143,270 千円				99,681 千円				
			国県支出金の内容				埼玉県子ども・子育て支援交付金、放課後児童健全育成事業費補助金 県放課後子供教室推進事業費補助金等												
	地方債				千円			千円			千円			千円					
	その他特財		85,367 千円				75,702 千円				63,989 千円				74,701 千円				
			その他特財の内容				学童保育室保育料、傷害保険料保護者負担金												
	一般財源		263,333 千円				286,735 千円				299,586 千円				263,178 千円				
財源合計		425,200 千円				520,956 千円				506,845 千円				437,560 千円					

概要説明シート						
テーマ		放課後子ども対策				
主な事業の自己評価、課題、活動実績等	①	事業名	学童保育室事業			
		待機児童の解消 学童保育室を必要としている世帯へ居場所を提供した。				
		【活動指標名】（実績値/目標値）	単位	2021 年度	2020 年度	2019 年度
		学童保育室の入所人数	人	1064	1066	1004
	②	事業名	放課後子ども教室事業			
		全小学校区での実施 全小学校での事業実施を目指した。（令和2年・3年度は新型コロナの蔓延防止により一部事業を中止した）				
		【活動指標名】（実績値/目標値）	単位	2021 年度	2020 年度	2019 年度
		全小学校での延べ参加人数	人	5976人(376回)	2463(156回)	6382人(354回)
	③	事業名	学童保育室と放課後子ども教室の連携			
		同一の学校内での事業実施 全ての学童に安心安全な居場所を確保するため、同一小学校内で事業実施した。				
		【活動指標名】（実績値/目標値）	単位	2021 年度	2020 年度	2019 年度
		一体型の事業数	カ所	13	13	7
テーマ成果	成果目標 （指標設定理由等）	市民意識調査の満足度				
	成果 （目標達成状況）	【成果指標名】（実績値/目標値）	単位	2021 年度	2019 年度	2014 年度
		子ども・子育て支援のための施設や体制に対する市民満足度（市民意識調査）	順位 満足度	30.位(0.134)	35位(0.046)	31位(0.04)
テーマにおける今後の事業の方向性		子育て支援のための施設である学童保育室に加え、子育て支援体制の一環でもある放課後子ども教室が小学生にとって、より一層安心安全な場となり、両者の満足度が向上するよう努める。 今後の課題：放課後子ども教室での需要が少なく、また学童保育室で一部待機児童が発生している高学年児童の居場所の在り方。				
比較参考値 （他自治体での類似事業の例など）		ダイアの状況を調査中（当日、資料を配付します）				
特記事項						